

令和7年度「気候変動対応アクションプラン」の実施結果について

令和7年度は新たに5,192家庭を「エコファミリー」に認定し、令和7年度末時点で累計143,930家庭となりました。

このうち、令和7年度の「気候変動対応アクションプラン」に取り組んでいただいた家庭の取組結果は以下のとおりです。

(区分ごとに取組割合の多い項目順に並べてあります。)

区分	取組項目	取組率		
緩和策 (気候変動の原因を少なくする)	自宅のできる緩和策	人のいない部屋の照明やテレビを見ないときはこまめに消す	93.4%	
		手洗いやシャワーをするときは、水を流しっぱなしにしない	86.9%	
		ご飯やおかずを残さず食べる(食品ロス削減)	85.3%	
		ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する	75.9%	
		宅配便は置き配や宅配ボックス、時間指定などを活用して一度で受け取る	66.2%	
		LED照明や、省エネ型の家電製品を使用する	63.6%	
		節水シャワーヘッドの導入や蛇口への節水アダプタの設置を行う	33.0%	
		自宅の電気使用量を調べる	31.9%	
		再生可能エネルギー由来の電気プランを契約する□	9.5%	
	移動のできる緩和策	エコドライブを実施する、またはEVについて調べる	47.3%	
		できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する	22.2%	
	買い物のできる緩和策	マイボトル・マイバッグを利用する	87.3%	
		冷蔵庫などを事前にチェックして、必要な食材を必要な量だけ購入する(食品ロス削減)	69.3%	
		地元産の旬の食材を積極的に選ぶ	46.5%	
	さらに取り組んでみたい緩和策	リサイクル素材を使った環境に配慮した商品を選ぶ	35.0%	
		「デコ活」HPをチェックし、デコ活アクションを調べる	5.2%	
	適応策 (気候変動の影響に備える)	自宅のできる適応策	いしかわエコハウスへ行き、省エネ・創エネ技術等を体験する	4.9%
			こまめに水分・塩分などを補給する	91.9%
			エアコンや扇風機を適切に使用する	86.9%
			熱中症警戒アラートの情報を確認し、熱中症のリスクが高い日は不要不急の外出を控える	66.4%
保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす			62.4%	
遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用する			47.6%	
断熱性能の高い窓ガラスやサッシへの交換等の断熱リフォームを実施する			22.1%	
グリーンカーテンなどで日差しを和らげる		12.1%		
移動のできる適応策		外出時には日傘や帽子を着用する	81.2%	
		天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩をとる	71.2%	
		吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用する	65.1%	
災害に備える適応策		自分が住んでいる地域のハザードマップを見て、危険なエリアと避難場所を確認しておく	51.5%	
		非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておく	42.7%	
		家族や知人と災害時の連絡手段を確認しておく	42.2%	